

工学部

学部のアドミッション・ポリシー(AP: 入学者受入の方針)

<求める入学者像>

工学部は、工学・技術の分野で技術者・研究者等として国内外で活躍できる人材の育成を目指しています。そのため、本学部では次のような人を求めています。

(知識・理解)

1. 工学を学ぶために必要な基礎学力を有している。

(思考・判断、技能・表現)

2. 物事を多面的に考察し、自分の考えを論理的にまとめて表現することができる。

(興味・関心・意欲、態度)

3. 工学の分野に興味を持ち、主体的・継続的な学びの姿勢で未知の領域にチャレンジしようとする意欲と熱意を有している。

学部のカリキュラム・ポリシー(CP: 教育課程編成・実施の方針)

(カリキュラム・ポリシーについてはそれぞれの学科のページをご覧ください。)

学部のディプロマ・ポリシー(DP: 卒業認定・学位授与の方針)

<学部の教育理念と教育目的>

愛媛大学学則及び愛媛大学憲章の趣旨を踏まえ、幅広い教養及び工学に関連する基礎的知識に基づく十分な学問的知識を修得させ、豊かな人間性と自立した創造力に富む専門的職業人及び技術者となる人材を養成することを目的としています。

また、深く工学分野の学芸を教授研究することにより、社会の文化の創造と発展に貢献することを目的としています。

<育成する人材像>

社会や自然との係わりの中に自らを位置づけ、グローバルな視野からの多面的な判断によって工学・科学技術を主体的、自律的に行使することができる人材を育成します。また、科学とこれを基礎とする専門分野の基礎的知識を総合的に活用して、ものづくりやシステムづくり

に創造的能力を発揮し、このことを通じて社会に貢献することができる人材を育成します。

<学習の到達目標>

(知識・理解)

1. 機械工学、電気電子工学、環境建設工学、機能材料工学、応用化学及び情報工学の一分野についての専門的知識をもち、ものづくりやシステムづくりに活用できる。

(思考・判断)

2. 科学や技術が社会に及ぼす影響を理解しつつ、ユニバーサルな高い視点から、自立的かつ論理的な判断を行うことができる。

(興味・関心・意欲)

3. 問題を解決するために必要となる専門的知識を自ら修得するための継続的に学習する能力をもつ。

(態度)

4. 専門知識を総合的に活用しながら、問題を世界的な視野から位置づけることができる。

(技能・表現)

5. 自らの思考・判断のプロセスを説明し、伝達するためのプレゼンテーション能力、コミュニケーション能力をもつ。

<卒業認定・学位授与>

本学に4年以上(早期卒業では3年以上、3年次編入生においては2年以上)在学し、工学部規則に定められた単位数を修得した学生に対して、卒業を認定し学位(学士(工学))を授与します。